



オムニバスセッション 知の形成史 |ハイブリッド開催|

第17回
2026 1/22 [木] 10:30~

会場 …九州大学中央図書館 4階 Sky Cute. Commons
Zoom(オンライン併用)

どんな分野でもそうですが、「人文社会系」、もっと大きく「文系」としてくくられる学問の中にも、多様な方法と目標・関心を持つさまざまな研究領域が広がっています。しかし、それぞれの研究領域は、初めから現在の形で個別に独立して存在していたものではありませんでした。そこには少なからず、人々の知的好奇心に導かれてながらも、時代の移ろいや、それにともなう社会の要求にも応答して分化してきた経緯があります。

本シリーズではいま一度、それぞれの領域の「出来(いでき)はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と意義を問い合わせることを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。

小黒 康正 九州大学 人文科学研究院 教授 ドイツ文学 ドイツが驚く日本の翻訳文化 新訳 トーマス・マン 『トーニオ・クレーガー』をめぐって

トマス・マンの生誕150年にあたる2025年に、『トーニオ・クレーガー』の新訳(岩波文庫、小黒康正訳)が刊行された。本邦初訳以降、日本において100年も経たないうちに17番目の訳業がなされたことになる。この集中的な訳出は、世界は言うに及ばず、「翻訳大国」の日本においても、あまりにも特異な事例ではないか。実際、今、ドイツのメディアが驚きの声を何度も発している、「トマス・マンはなぜ日本でかくも愛されているのか」と。

[聞き手] 松枝 佳奈 九州大学 比較社会文化研究院 准教授
[司 会] 阿部 貴晃 九州大学 経済学研究院 准教授



『トーニオ・クレーガー』
トーマス・マン作
小黒康正訳
岩波文庫 / 岩波書店 2025年



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

参加由込

下記サイトへアクセスの上、事前登録をお願いします。Zoomで
ご参加の方には折り返しアドレスとパスワードをご連絡いたします。
https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_37.html ▶

「音像・映像企画」九州大学人文学系協働研究 教育ユニット Email:koenig@cmms.ku.ac.jp

「井井」上川人学部人間環境推進室・科学系研究センター、人間環境推進室、上川人学部研究教育機構

【共催】九州大学社会連携推進室 科学コミュニケーション推進室
【後援】上川上人堂法文堂部創立100周年記念事業実行委員会

